



心の鬼を追い払ってもらう園児

5

NEWS

鬼は外、福は内 こどもセンターで豆まき

さめがわこどもセンターの豆まきは二月三日、こどもセンターで行われました。はじめに園児一人ひとりが手作りのお面をかぶり「野菜嫌い」「無駄話をする」など自分の心の鬼を発表。北條所長らが豆をまいて園児の心の鬼を退治しました。その後教室に戻って豆をまき、教室の中にいる鬼を元気よく追い払いました。また、無病息災を願い、おいしそに豆を食べました。



得点を競い合ったクロリティー大会

3

NEWS

中野チームが上位を制す 第1回村長杯争奪クロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の第一回村長杯争奪クロリティー大会は二月二十四日、村農業者トレーニングセンターで行われました。村内の老人クラブから二十七チームが参加。競技は予選リーグ、決勝トーナメントと熱戦が繰り広げられ、参加者は和気あいあいと競技を楽しみました。成績は次のとおり。
①中野7チーム②中野4チーム③中野3チーム



大勢の会員が出席した総会

1

NEWS

ふるさと談義で交流深める 第24回東京鮫川会総会

第二十四回東京鮫川会総会は、一月二十四日、東京都の新宿住友ビルで行われました。

会員・村関係者など約百人が出席。総会では、平成二十一年度事業報告および収支決算承認、平成二十二年年度事業計画および収支予算について審議されたほか、任期満了による役員改選が行われました。

総会終了後、恒例の新年会が催され、ふるさと談義に花を咲かせながら親睦を深めました。役員は次のとおりです（敬称略）。
▼会長：茨木勇（再・西山字大沢出身）▼副会長（2名）：前田勝次（再・赤坂東野字前田出身）市川三喜男（再・赤坂東野字滝ノ下出身）▼監事（2名）：生田目靖雄（再・石井草字小名沢出身）須藤春雄（再・赤坂西野字名下出身）



一生懸命もちつきをする子どもたち

6

NEWS

思い出いっぱい作ったよ チャレンジスクール第8講座・閉講式

村公民館事業「チャレンジスクール」第八講座および閉講式は二月十三日、村公民館で行われました。小学生約四十人が参加。講座では、中野長生会の会員が協力し、臼と杵を使ってもちつきを楽しみました。子どもたちは、ついたもちを思い思いに丸め、あんこもちやきな粉もちにして味わいました。引き続き閉講式が行われ、一年間の活動を振り返りました。



縄もじりに挑戦する子どもたち

4

NEWS

先人の知恵を学ぶ 鮫川小5年生が縄もじり体験

総合的な学習の時間に米づくりを体験した鮫川小五年生三十二人が一月二十五日、縄もじりに挑戦しました。地域のお年寄り六人に手ほどきを受けながら、乾燥させたわらを丁寧にもじっていました。また、一月二十九日には、作った縄を使い、自分にあった草鞋（わらじ）を作りました。子どもたちは昔ながらの手作業に悪戦苦闘しながら、先人の知恵を学びました。

2

NEWS

意欲を持って農業経営に 農業経営改善計画認定書交付式

農業経営改善計画認定書交付式が二月五日、役場村長室で行われ、高橋康治さん（押野）と株式会社山燕庵（さんえんあん）の杉原正利代表に認定書が交付されました。



認定書を手にする杉原代表（左）と高橋さん（中央）

認定農業者制度は、農業で頑張っている意欲的な農業者が農業経営改善計画（五年後の経営目標）を作成し、審査を経て、村長が認定するものです。今回認定された高橋さんは、昨年三月に会社を退職後、西山字押野に移住した新規就農者で、奥さんの実家の農業経営種目を引き継ぎながら新たにネギの生産拡大を行い、将来的には一本化を図っていく計画です。

株式会社山燕庵は赤坂西野字寅卯平で一昨年より農業生産法人を設立。地元農家の協力を得ながら松本農法による米や野菜を生産し、販売を行っています。なお、今回の認定で村内の認定農業者は四十七経営体となっています。